



皆様の「快適な暮らし」のヒントに すまい造りメール

第175号 2016年10月号

SINCE 2002.4.1.

発行日平成28年9月28日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 046(865)4010
FAX 046(865)6139
http://www.sano-k.net/
info@sano-k.net

お取替えのチャンス①

現在お使いのガスコンロの汚れが気になりませんか。ガスコンロが劣化していたり、汚れなど何らかの原因でバーナーキャップの燃焼部分が目詰まりをしている場合は不完全燃焼となり、燃焼効率が悪くなるばかりでなく、安全にご使用いただくことができません。そこで、既存のシステムキッチンはそのままで、ビルトインコンロ部分だけを取り替えるプチ・リフォームをおすすめします。

この「すまい造りメール」をご愛読の皆様に、下記のノーリツ社製ビルトインコンロ「ピアット」（限定5セット）を**25%OFF**（取付施工費等別途）でご提供させていただきます。



お取替えのチャンス②

ガス給湯器が一旦故障してしまうとお湯が使えずに、シャワーも食器洗いも冷たい水で我慢しなければなりません。夏ならともかく、だんだんと寒くなるこの時期はちょっとつらいですね。給湯器の寿命はだいたい10年とされています。お湯の出が弱くなったり、燃焼時の音が大きくなったりといった現象は、そろそろお取替えというサインです。

この「すまい造りメール」をご愛読の皆様に、下記のノーリツ社製給湯器（限定5セット）を**50%OFF**（取付施工費他別）でご提供させていただきます。



ノーリツ給湯器 エコジョーズ オート24号

本体 GT-C2452SAWX-2BL 定価341,000円
マルチリモコン RC-D101E 定価 33,000円

50%OFF 商品合計 定価374,000円

187,000円

（取付施工費、既存処分費及び消費税別）

空き店舗のリフォームを担当させていただいた施工例をご紹介します。6月号、7月号でご紹介させていただいた続編で最終回です。

隣接する店舗の壁にサイディングを施工し、取り払ったアーケードの代わりに日中の強い日差しや、しとしとと降る雨を防ぐことができるポリエステル製のキャンパス生地を使い、オーニングを設置しました。

「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

このキャンパス生地は、防災加工、防汚加工の他に、紫外線劣化防止加工がされていて耐候性が高くなっています。また、不要な時や風が強い時などは収納することができ、収納時のケースの出幅は150mmとスリムな仕上げとなっています。一般の住宅では、庭に面したテラス窓やベランダに最適です。

「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ビフォー、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。



よこすか文学館

中古、中世の物語文学を中心に研究されている中島正二氏に、歴史、小説、映画などジャンルを越えて「よこすか」が舞台となった芸術作品を紹介していただきます。

（すまい造りメール第77号参照）



第十話

横須賀出身の歌人・島田修二

横須賀中央公園の歌碑「横須賀の丘に吹く風 いちにんのいのちの重み 世界に告げよ」の作者である島田修二（1928-2004）は、現代短歌を代表する1人です。父は浦賀造船所の技師、母は短歌結社「アララギ」の同人でした。横須賀中学（現・横須賀高校）を経て、1945年4月、海軍兵学校に77期生として入校しましたが、8月に終戦。その後、静岡高校（作家の小川国夫と同期）、東京大学で学び、卒業後、読売新聞社に入社（詩人の大岡信と同期）、記者活動の傍ら、歌壇で活躍しました。一時期、新制の横須賀市立田浦中学校の教諭を勤めたこともあります。代表歌に、『ただ一度生れ来しなり「さくらさくら」歌うべらフォンテも我も悲しき』があります。



横須賀中央公園の歌碑

〔洗足学園中学高校教諭 中島正二〕

横須賀製鉄所物語（製鉄所への海上交通）＜28＞

52年11ヵ月の間、都市政策を中心に横須賀市の発展に寄与され、最後の8年間は2期に亘り、横須賀市助役として活躍された井上吉隆氏に横須賀製鉄所についてお話を伺いました。

江戸・横浜からのアクセスは、陸路では「浦賀道」や「鎌倉道」に依存していましたが、特に江戸へのルートとしては山坂の多い難所であったため、水上交通が重要な交通手段になっていました。『新横須賀市史』通史 近代史には「横須賀村に大津村、そして須崎村（横浜市金沢区）の野島浦との間で渡船業務を行っており、野島浦はこのほかにも、遠くは下総国や安房国と結ぶルートを形成していた」と記されています。

「江戸時代には水路が物流のみならず交通においても現在とは比較にならないほど大きな役割を担っていた。当時天候が良ければ陸路より水路の方が一般に速く、（略）そうした水路を進むための渡船航路が各地に存在していた。三浦半島では東京湾側で北部に出がちの地形が続くために海路交通が発達し、浦賀道のうち町屋村に近い野島浦（現横浜市金沢区）からは横須賀村や大津村に至る渡船の航路が存在していた」と記されています。

そして、横須賀鎮守府編『横須賀造船史』慶応2年紀によりますと、ヴェルニーは横須賀製鉄所のために船を購入し、「横須賀横浜間通航汽船規則」を制定して、毎週日曜・火曜・金曜日の3日間運行することにしました。そして、明治元年8月には製鉄所関係者以外の一般人にも利用できるように「横須賀丸便船人心得規則」を定めました。また、明治12年紀には「5月3日従来本所二於テ横須賀横濱間往復ノ通船取扱ヒ来リシカ今般藤倉五郎兵衛同所通間船開業二付本所ノ通船ヲ廃止セリ」とあり、民営化されました。

江戸に向けての船便については、『横須賀造船史』明治元年紀に「三月製鉄所奉行八首長うるに一ヨリ昨年中起工シタル小汽船落成ノ報告ヲ受ケテ舊幕府二經同シ此新船ヲ以テ毎土曜日江戸二渡航シ毎月曜日横須賀二歸航シ以テ兩地直航ノ便ヲ開カントス乃チ同月二十八日之ヲ首長二傳達シ来週ノ土曜日ヨリ実行セシム」とあり、江戸への定期便を製鉄所（造船所）として開設しました。

このように当時の横須賀は、陸の孤島で海上交通に依存せざるを得ない状況でした。現在のような首都圏へのアクセスに改善されたのは、今から約130年ぐらい前のことです。（元横須賀市助役 井上吉隆）



①野島と夏島

②横須賀に残る唯一の渡船

Ogu-Li-De, Oku-La-Da

「小栗でお蔵だ」

横須賀製鉄所は、日本ではじめて最先端の西洋技術を駆使して建設された、船や機械を造ることができる総合工場です。

ペリー来航後、条約を結ぶために渡米した江戸幕府の小栗上野介は、船だけでなく船に必要な道具や機械を製作する海軍造船所をワシントンで見学した時に、日本の近代化には造船所の建設が不可欠であると強く感じました。帰国後、建設に反対する勝海舟をはじめとする幕府の要人を説得し、フランス人技術者ヴェルニーとともに建設に着手しました。

幕末の不安定な政局の中、完成した製鉄所が幕府の手を離れ、新しい持ち主の手に渡るかもしれない状況下においても、「幕府の運命に限りがあろうとも、日本の運命には限りがない。幕府のしたことが長く日本のためになるのであるならば、国の利益となる。同じ売据（うりすえ=家具付きの売家）でも土蔵付売据の方がいい」という国の将来のために、いまできることを精一杯やるという気概のある言葉を残しています。

小栗上野介の魂の籠った横須賀製鉄所は横須賀にありました。Life goes on.

（参考資料「日本近代化の源泉・横須賀造船所」「知っていますか？横須賀造船所」）

11月5日(土)・6日(日)三笠公園で開催される「よこすか産業まつり」に今年で8年目のパーパークラフト教室「みんなde街づくり」を出店します。是非、ご来場ください。



お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2016」A-9歩ZONE版（永久保存版）をダウンロードすることができますので、アクセスしていただき、ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができれば幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索